

このままでは、 日本の牛乳が 消えてしまう。

大げさな表現ではありません。

食卓から牛乳がなくなる日が、目の前に迫っています。

生乳の需要量が増加する反面、生産量は減り続けています。

酪農家の数が、大幅に少なくなっているからです。

生き物を相手にする難しさ。設備投資などのコスト増。

自然災害に大きく影響されてしまう、というリスクもあります。

しかし、そんな厳しい現実の中でも、

牛と真正面から向き合う酪農家たちがいます。

暮らしに欠かせない大切な食を担い、

当たり前のように口にする毎日を守るという、

誇りと情熱があるからです。

日本の酪農、牛乳が消えてしまわないように。

この危機と、決して諦めない酪農家がいること。

そして、牛乳をこれからも提供し続けるための

適正な価格について、

どうか思いを巡らせていただけないでしょうか。

私たちは、
日本の牛乳を守る、
酪農家の団体です。